

講義コード	11C0123800	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	伏田 寛範	開講期	第2期																																
科目名	ロシア経済論2 / ロシア経済B					伏田 寛範		第2期																																	
履修前提条件						備考																																			
授業の目的	この講義では、新興国経済の一角として注目されているロシアの経済について理解することを目的とする。ソ連崩壊後のロシアでどのような改革が実施されたのか、ロシア経済はどのような特徴を持つようになったのか、現在のロシア経済の抱える構造的な問題点は何なのか、また、今日の国際環境のなかでロシアはどのような位置を占めているのか、などといった点について検討する。																																								
到達目標	①2000年代に入り、なぜロシア経済が高成長を遂げることができたのかを説明できるようになる。 ②ロシア経済の抱える構造的な問題点について指摘できるようになる。 ③日本とロシアの経済関係の展望について自分自身の見解が述べられるようになる。																																								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	この科目では、60時間以上の授業外学修を行なうこと（予習20時間以上、復習40時間以上）。毎回の授業中に予習箇所を指示する。予習に際してはテキストの当該箇所を読み、疑問に思った箇所や理解しづからかった箇所を明確にしておくこと。また、テキストや配付資料を読み返しノートを作るなど、必ず復習をすること。																																								
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>【第1回】</td> <td>イントロダクション</td> <td>【第9回】</td> <td>ロシアの財政制度と金融の特徴と問題点</td> </tr> <tr> <td>【第2回】</td> <td>現代ロシアの政治システム</td> <td>【第10回】</td> <td>労働市場と社会政策</td> </tr> <tr> <td>【第3回】</td> <td>ロシア経済の歴史</td> <td>【第11回】</td> <td>経済格差と階層化</td> </tr> <tr> <td>【第4回】</td> <td>ロシアにおける市場経済移行</td> <td>【第12回】</td> <td>世界経済への再統合</td> </tr> <tr> <td>【第5回】</td> <td>2000年代における高成長</td> <td>【第13回】</td> <td>近代化政策</td> </tr> <tr> <td>【第6回】</td> <td>ロシアのマクロ経済・産業構造の特徴と問題点</td> <td>【第14回】</td> <td>東方シフト戦略</td> </tr> <tr> <td>【第7回】</td> <td>民営化と企業システムの変容</td> <td>【第15回】</td> <td>日ロ経済関係の展望</td> </tr> <tr> <td>【第8回】</td> <td>小テスト</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>									【第1回】	イントロダクション	【第9回】	ロシアの財政制度と金融の特徴と問題点	【第2回】	現代ロシアの政治システム	【第10回】	労働市場と社会政策	【第3回】	ロシア経済の歴史	【第11回】	経済格差と階層化	【第4回】	ロシアにおける市場経済移行	【第12回】	世界経済への再統合	【第5回】	2000年代における高成長	【第13回】	近代化政策	【第6回】	ロシアのマクロ経済・産業構造の特徴と問題点	【第14回】	東方シフト戦略	【第7回】	民営化と企業システムの変容	【第15回】	日ロ経済関係の展望	【第8回】	小テスト		
【第1回】	イントロダクション	【第9回】	ロシアの財政制度と金融の特徴と問題点																																						
【第2回】	現代ロシアの政治システム	【第10回】	労働市場と社会政策																																						
【第3回】	ロシア経済の歴史	【第11回】	経済格差と階層化																																						
【第4回】	ロシアにおける市場経済移行	【第12回】	世界経済への再統合																																						
【第5回】	2000年代における高成長	【第13回】	近代化政策																																						
【第6回】	ロシアのマクロ経済・産業構造の特徴と問題点	【第14回】	東方シフト戦略																																						
【第7回】	民営化と企業システムの変容	【第15回】	日ロ経済関係の展望																																						
【第8回】	小テスト																																								
成績評価の方法	期末試験（60%）、小テスト（30%）、授業への取り組み姿勢（10%）に基づいて評価する。																																								
フィードバックの内容	第8回の小テスト（60分）の終了後、テスト内容について解説する。また、リアクションペーパーへのフィードバックを翌週の授業内で行なう。																																								
教科書	『現代ロシア経済論』吉井昌彦・溝端佐登史（ミネルヴァ書房）2011年、『ロシア・ユーラシア経済－研究と資料－』（ユーラシア研究所）2009年																																								
指定図書	『東大塾 社会人のための現代ロシア講義』塩川伸明・池田嘉郎（東京大学出版会）2016年、『現代ロシア経済』安達祐子（名古屋大学出版会）2016年、『宗教・地政学から読むロシア』下斗米伸夫（日本経済新聞出版社）2016年、『日本とロシア』猪口孝（原書房）2015年																																								
参考書	『ロシア近代化の政治経済学』溝端佐登史（文理閣）2013年、『プーチンの世界』フィオナ・ヒル／クリフォード・G・ガディ（新潮社）2016年																																								
教員からのお知らせ	上記の授業計画にしたがって講義を進めるが、進捗状況に応じて内容を若干変更することがありうる。毎回講義資料を配付するので復習に役立ててほしい。講義内容に関する質問は、授業中でも積極的に進んでほしい。																																								
オフィスアワー その他	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。またメールでも応じる。																																								